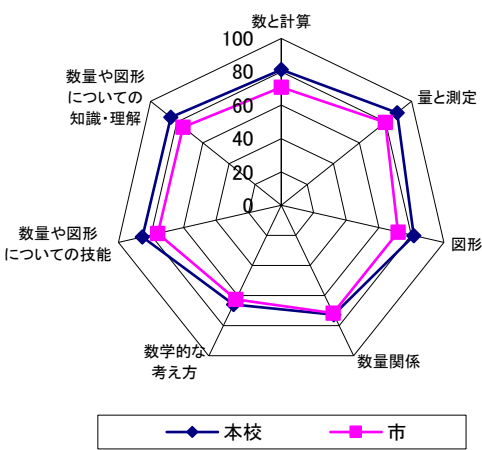


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	81.3	70.8	65.9
	量と測定	88.9	79.9	77.0
	図形	81.5	71.8	74.6
	数量関係	72.7	71.7	73.4
観点別	数学的な考え方	65.9	62.5	59.4
	数量や図形についての技能	85.3	75.8	73.3
	数量や図形についての知識・理解	84.6	75.1	76.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、市の平均を11ポイント上回っている。 ○小数や分数の計算の正答率は、90%を超えている。 ●図を使って文章題に合った式を選ぶ問題の正答率は55%、場面を理解してそれに合った式を選ぶ問題の正答率は66%と、市の平均は上回るもののやや低かった。	・朝の学習などで計算のドリル学習を継続した成果が表れている。引き続き基礎基本の徹底を図る。 ・授業の中で、図と式、文章と式を関連付けて記述する経験を積ませ、順序立った説明の仕方や、根拠を挙げて理由を述べる方法などを指導していく。
量と測定	平均正答率は、市の平均を9ポイント上回っている。 ○●面積や体積を求める問題の正答率は88%とおおむねよくできているが、2つ以上の形を組み合わせた図形の面積を求める問題では、77%とやや低くなる。平均や時速を求める問題の正答率は、90%と高い。	・複合的な図形の面積を求める際には見通しを立てさせると共に、言葉や図、式など様々な方法で説明する経験を積ませる。
図形	平均正答率は、市の平均を10ポイント上回っている。 ○合同な三角形の作図の正答率は、100%だった。 ●五角形の内角の和を求める問題の正答率は38%で市の平均を10ポイント下回っている。	・正多角形や合同な図形、対称な図形について、図を描くなどの体験的な活動をもとに、図形の構成要素や性質について確認をする。
数量関係	平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。 ○比例・反比例の問題については、共に正答率が88%であり、反比例も問題では市の平均を上回っている。 ●いろいろなグラフの読み取りの問題では、もとにする量と割合、比べる量の関係を具体的に説明する問題の正答率が25%と、市の平均を9ポイント下回った。	・さまざまなグラフの表し方や特徴、よさを整理したり、2種類を組み合わせたグラフの読み取り方を丁寧に指導したりする。また、他教科とも関連させ具体的な活用場面を設定し、割合や比の考え方の有効性を理解させ、さらに実生活の中でも活用できるようにしていく。